



都祁地域学校規模適正化検討協議会ニュース



第2号

平成27年3月
教育政策課

第2回都祁地域学校規模適正化検討協議会が3月2日(月)に開催されました。

中期計画と今後の統合再編の方針について

計画期間が平成23年度から平成25年度までである中期計画では、「並松小学校、吐山小学校、六郷小学校は過小規模であり、今後も過小規模が継続するようであれば、都祁小学校を含めて統合再編等を検討する」としていました。中期計画の3年間で、並松小学校では児童数が64人から59人に、吐山小学校では58人から45人に、六郷小学校では68人から56人に児童数が減少しました。

今後は、検討協議会で示しました「都祁中学校区の適正化実施計画」にあるように「平成26年5月現在、奈良市立並松小学校・吐山小学校・六郷小学校は過小規模であり、一部の教育活動に支障をきたしている。平成27年度においても全校児童数は奈良市立並松小学校(54名)・吐山小学校(37名)・六郷小学校(34名)の見込みで、過小規模の状態が続くことが予想される。集団活動ができる人数を安定的に確保し、教育環境を整える観点から、都祁小学校を含めて平成29年4月を目途に統合再編を行う。統合先は、都祁小学校又は都祁中学校の敷地内を候補とし、1小1中の小中一貫教育を実施する。」とする方針により進めてまいります。

都祁地域4小学校の平成27年度予定児童数、29年度児童数推計

平成27年度予定児童数

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 児童数 | 学級数 | 複式学級の有無 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-------------|
| 並松小 | 4 | 14 | 8 | 13 | 6 | 9 | 54 | 6 | 無 |
| 都祁小 | 15 | 18 | 14 | 20 | 18 | 26 | 111 | 6 | 無 |
| 吐山小 | 7 | 6 | 6 | 4 | 7 | 7 | 37 | 4 | 2年・3年、4年・5年 |
| 六郷小 | 4 | 8 | 4 | 4 | 7 | 7 | 34 | 4 | 2年・3年、4年・5年 |

平成29年度児童数推計

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 児童数 | 学級数 | 複式学級の有無 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-------------|
| 並松小 | 10 | 6 | 4 | 14 | 8 | 13 | 55 | 5 | 2年・3年 |
| 都祁小 | 18 | 12 | 15 | 18 | 14 | 20 | 97 | 6 | 無 |
| 吐山小 | 3 | 5 | 7 | 6 | 6 | 4 | 31 | 4 | 2年・3年、4年・5年 |
| 六郷小 | 7 | 7 | 4 | 8 | 4 | 4 | 34 | 4 | 2年・3年、4年・5年 |
| 統合小 | 38 | 30 | 30 | 46 | 32 | 41 | 217 | 9 | 無 |

※複式学級：小学校1年生を含む学級にあつては、6人以下で複式学級

1年生を含まない学級にあつては、14人以下で複式学級

※複式学級の学年の組合せについては、学校運営上変更することがあります。

今後について

平成 27 年度予算に、統合再編のための小学校新築もしくは増築のための設計予算を奈良市議会 3 月定例会に上程しています。議会で承認されると、平成 27 年度に、校舎等の設計が行われます。

その後の進捗計画については、単年度ごとの予算計上のため確約できるものではありませんが、現在の想定では、28 年度に建築、平成 29 年 4 月の統合再編を目途にしています。

新年度の協議会では、統合再編に向けた様々な内容について、より具体的な協議をしていただきたいと考えています。

市教育委員会事務局から協議事項を提案させていただき、協議を計画的に進めていただくとともに、地域の皆様の声をいただきながら、よりより統合再編を行ってまいりたいと考えています。

質疑応答について

(→市教育委員会事務局からの回答)

- ・新年度になると P T A 役員が入れ替わる。委員の任期は 1 年ということだが、どうなるのか。
委員については新役員の方になる。P T A としての意見があれば引き継いでほしい。また、協議内容については、協議会ニュースを配布していただいている。(吉井会長)
- ・統合先が都祁小学校、都祁中学校の何れであっても、それぞれに良いところがある。
→都祁小学校で統合する場合は、現在の都祁小学校の学校施設の改修と増築を行うこととなります。特別教室(理科室や家庭科室等)や、教室以外の施設(体育館やプール等)についても既存の施設を利用することができます。バンビーホームについては狭小となるため改善が必要となります。
一方、都祁中学校で統合する場合は、施設一体型の小中一貫教育校となります。日常的に中学校の教員が小学生と関わったり、逆に中学生に小学校の先生が関わっていくことができるなど、小学校と中学校のすべての教職員で子どもたちを育む 9 年間を見通した小中一貫教育の利点を最大限生かすことができます。しかし、運動場や体育館などが共用となることや、小学生用のプールや、遊具の設置場所、バンビーホームなど、検討しなければならない課題もあります。
- ・都祁小学校であれ、都祁中学校であれ、並松小学校、六郷小学校の跡地、場合によっては都祁小学校の跡地の活用も考えなければならない。
→跡地の利活用については、統合再編を進める上での課題であると認識しています。このことについては、こども園に統合した際の保育園跡の例もあり、繰り返すことのないように考えてまいります。しかし、跡地の利活用については、教育委員会のみで解決できる課題ではないので、市長部局とも、都祁地域の統合再編に関わる学校跡地についての課題の共有を行っています。新年度以降は、市長部局からの協議会への出席も含め、市全体としての取組となるよう調整を行い、地域の皆様とともにより良い学校をつくっていきたいと考えています。

第 3 回学校規模適正化検討協議会の開催日時については、改めて後日お知らせをさせていただきます。

お問い合わせ先
奈良市教育委員会事務局教育政策課
Tel 34-5386